

# 大規模小売店舗立地法手続きに係る 騒音予測

## 西友浦安店

<添付資料:大規模小売店舗立地法施行規則 第四条第一項第十号及び第十一号>

## 目 次

1. 騒音予測の概要 .....	1
1.1 騒音に係る環境基準について .....	1
1.2 浦安市環境保全条例における夜間の規制基準について .....	1
1.3 計算方法 .....	2
1.3.1 騒音源の A 特性音響パワーレベル計算方法 .....	2
1.3.2 伝搬経路計算方法 .....	2
1.3.3 等価騒音レベル計算方法 .....	3
1.3.4 騒音レベルの最大値の計算方法 .....	3
2. 予測の評価 .....	4
2.1 騒音の総合的な予測・評価 .....	4
2.2 発生する騒音ごとの予測・評価 .....	4
3. 予測地点の設定 .....	5
3.1 騒音の総合的な予測地点 .....	5
3.2 夜間に発生する騒音ごとの予測地点 .....	5
4. 騒音予測のまとめ .....	6
4.1 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測結果 .....	6
4.2 夜間における騒音レベルの最大値の予測結果 .....	7
5. 各騒音源のデータ .....	9
5.1 騒音データ .....	9
① 自動車走行騒音 .....	9
5.2 騒音予測における来客車両台数の考え方 .....	9

## 1. 騒音予測の概要

### 1.1 騒音に係る環境基準について

千葉県における環境基準を下表に示します。

表-1 環境基準

地域の類型	基準値		当該地域
	昼間	夜間	
AA	50dB 以下	40dB 以下	療養施設、社会福祉施設等が集合して設置される地域等特に静穏を要する地域
A	55dB 以下	45dB 以下	専ら住居の用に供される地域
B	55dB 以下	45dB 以下	主として住居の用に供される地域
C	60dB 以下	50dB 以下	相当数の住居と併せて商業、工業等の用に供される地域

### 1.2 浦安市環境保全条例における夜間の規制基準について

浦安市環境保全条例における規制地域の指定状況及び基準値を下表に示します。なお、浦安市環境保全条例における夜間の時間帯は、午後 10 時から翌午前 6 時までとなっております。

表-2 夜間の規制基準

区域の区分	基準値	用途地域
第 1 種区域	40dB	第一種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域
第 2 種区域	45dB	第一種住居地域 第二種住居地域
第 3 種区域	50dB	近隣商業地域 商業地域 準工業地域
第 2 種、第 3 種区域のうち、学校、保育所、病院、診療所（患者の収容施設を有するもの）、図書館、特別養護老人ホーム及び幼保連携型認定こども園の敷地の周囲 50メートルの区域内における規制基準は、表のそれぞれの基準から 5 デシベルを引いた値である。		

### 1.3 計算方法

#### 1.3.1 騒音源の A 特性音響パワーレベル計算方法

##### ① 変動騒音(自動車走行騒音)

自動車走行騒音については、「ASJ RTN-Model 2023」のパワーレベル算出式又は自動車工学に基づくパワーレベル式及び「大規模小売店舗から発生する騒音の手引き」により算出しております。

#### 1.3.2 伝搬経路計算方法

「1.3.1 騒音源の A 特性音響パワーレベル計算方法」で求めた各騒音源及び各仮想点音源から各予測地点へ、距離減衰及び回折減衰した騒音レベル ( $L_s$ ) を求めます。自動車走行に関する騒音については、騒音源を線分とする場合、「ASJ RTN-Model 2023」に従い、騒音源と予測地点との位置関係により線分の区間を分割し、各区間の中心に仮想点音源を設定しています(※1)。

$$L_S = L_{Pi} - A_{div} - A_{bar}$$

$L_S$  : 各予測地点における騒音レベル [dB(A)]

$L_{Pi}$  : 騒音源の基準距離騒音レベル[dB(A)] ( $L_W - 8$ )

$A_{div}$  : 距離減衰 [dB](※2)

$A_{bar}$  : 回折減衰 [dB](※3)

※1 来客車両走行線、搬出入車両走行線などの自動車走行は、ひとつの線を均等な区間に分割し、その区間の中心に区間を代表する点音源を置きました。また、搬出入車両の後進ブザー音線に関しては、短い線であるのでその中心に代表する点を1点置きました。

※2 距離減衰[dB]

$$A_{div} = 20 \log_{10} r$$

$r$  : 音源から予測地点までの距離[m]

\*平面上(半自由空間)に騒音源があるため、指向係数を  $Q=2$  として算出しております。

※3 回折減衰[dB]

$$A_{bar} = \begin{cases} 10 \log \sigma + 20 & 1 \leq \sigma \\ 5 \pm 17 \sinh^{-1} (|\sigma|^{0.415}) & -0.053 \leq \sigma < 1 \\ 0 & \sigma < -0.053 \end{cases}$$

すなわち、騒音レベル ( $L_s$ ) は、A 特性音響パワーレベルから求めることとして

$$L_S = L_W - 8 - 20 \log_{10} r - A_{bar}$$

として算出しております。

### 1.3.3 等価騒音レベル計算方法

#### 1.3.3.1 各時間帯 $L_{Aeq,T}$ 計算

各計算点の騒音レベルを、対象とする時間帯の  $L_{Aeq,T}$  となるように計算します。

##### ①自動車走行騒音 $L_{Aeq,T}$ 計算

$$L_{Aeq,T} = L_S + 10 \log_{10} \frac{a_d T_m}{T}$$

$L_{Aeq,T}$  : 対象とする時間区分の騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

$L_S$  : 各伝搬経路毎の計算点における騒音レベル [dB(A)]

$T$  : 対象とする基準時間帯の時間[s] (昼間は 57,600[s]、夜間は 28,800[s])

$a_d$  : 走行台数[台]

$T_m$  : 区間における通過時間[s]

$$T_m = \frac{3600}{1000 \cdot V} \cdot \Delta l$$

但し、 $V$ : 走行速度 = 20[km/h]と仮定

$\Delta l$  : 区間の長さ[m]

#### 1.3.3.2 等価騒音レベル $L_{Aeq}$ 計算

上記の音源の等価騒音レベルをエネルギー合成して、各計算点の等価騒音レベルを求めます。

$$L_{Aeq} = 10 \log_{10} \left( \sum_{i=1}^n 10^{\frac{L_{Aeq,T,i}}{10}} \right)$$

$L_{Aeq}$  : 計算点における対象とする時間帯の等価騒音レベル [dB(A)]

$L_{Aeq,T,i}$  : 対象とする時間帯の各騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

### 1.3.4 騒音レベルの最大値の計算方法

「1.3.1 騒音源パワーレベル計算方法」で求めた各騒音源及び各仮想点音源から各予測地点へ、距離減衰及び回折減衰した騒音レベルの最大値を求めます。

$$L_{Amax,i} = L_{Amax,is} - A_{div} - A_{bar}$$

$L_{Amax,i}$  : 各予測地点における騒音レベルの最大値[dB(A)]

$L_{Amax,is}$  : 騒音源の基準距離騒音レベル [dB(A)] ( $L_W - 8$ )

$A_{div}$  : 距離減衰 [dB]

$A_{bar}$  : 回折減衰 [dB]

## 2. 予測の評価

### 2.1 騒音の総合的な予測・評価

昼間(午前 6 時から午後 10 時までの 16 時間)、夜間(午後 10 時から翌午前 6 時までの 8 時間)における等価騒音レベルを算出しました。

各予測地点(資料【騒音源及び予測地点配置図】)における騒音レベルの予測計算は、下記の通り行いました。

- 1) 個々の騒音源から発生する騒音について「1.3.1 騒音源のA特性音響パワーレベル計算方法」により音響パワーレベルを求める。
- 2) 音響パワーレベルから騒音源の基準距離騒音レベルを求める。
- 3) 騒音源から距離減衰等の影響を考慮して、予測地点における騒音レベルを求める。
- 4) 予測地点での騒音レベルについて、対象とする時間区分における等価騒音レベルを求める。
- 5) 4)で求めた全ての等価騒音レベルをエネルギー的に加算し、予測地点における等価騒音レベルとする。

### 2.2 発生する騒音ごとの予測・評価

夜間(午後 10 時から翌午前 6 時まで)における騒音レベルの最大値を算出しました。

各予測地点(資料【騒音源及び予測地点配置図】)における騒音レベルの最大値の予測計算は、下記の通り行いました。

- 1) 個々の騒音源から発生する騒音について「1.3.1 騒音源のA特性音響パワーレベル計算方法」により音響パワーレベルを求める。
- 2) 音響パワーレベルから騒音源の基準距離騒音レベルを求める。
- 3) 騒音源から距離減衰等の影響を考慮して、予測地点における騒音レベルの最大値を求める。

※走行線の音源位置は、予測地点より最も近い位置としております。

### 3. 予測地点の設定

#### 3.1 騒音の総合的な予測地点

下表のように予測地点を設定し、騒音源(車両走行音)の設置高さを考慮し、騒音レベルの予測をしております。

表-3 騒音の総合的な予測地点

予測地点	予測高さ(m)	用途地域	環境基準		選定理由
			昼間	夜間	
A	1.2	近隣商業地域	60dB	50dB	車両走行音の影響を受ける、道路を挟んだ隣地敷地境界(現況:マンション7階建) ※1~7階で予測し、最も影響の大きい1階(1.2m)で予測
B	1.2	商業地域	60dB	50dB	車両走行音の影響を受ける、道路を挟んだ隣地敷地境界(現況:オフィスビル) ※隣地が非住居の為、1階(1.2m)で予測
C	1.2	近隣商業地域	60dB	50dB	車両走行音の影響を受ける、隣地との敷地境界(現況:マンション9階建) ※1~9階で予測し、最も影響の大きい1階(1.2m)で予測
D	1.2	近隣商業地域	60dB	50dB	車両走行音の影響を受ける、隣地との敷地境界(現況:事務所) ※隣地が非住居の為、1階(1.2m)で予測

#### 3.2 夜間に発生する騒音ごとの予測地点

夜間に発生する騒音ごとの予測を行う場合には「店舗の敷地境界で予測すること」とされています。下表のように敷地境界の予測地点を設定し、予測をしております。

表-4 騒音レベルの最大値の予測地点

予測地点	予測高さ(m)	用途地域	規制基準	選定音源と理由	
				保全対象側予測地点	予測地点
P1	1.2	近隣商業地域	50dB	22時以降発生する車両走行音の影響を受ける当該店舗の敷地境界 ※来客車両走行001の高さを考慮し、1.2mにて予測	
				保全対象側予測地点	予測地点 P1'(高さ:1.2m)
P2	1.2	近隣商業地域	50dB	22時以降発生する車両走行音の影響を受ける当該店舗の敷地境界 ※来客車両走行006の高さを考慮し、1.2mにて予測	
				保全対象側予測地点	予測地点 P2'(高さ:1.2m) 予測地点 P2''(高さ:1.2m)
P3	1.2	近隣商業地域	50dB	22時以降発生する車両走行音の影響を受ける当該店舗の敷地境界 ※来客車両走行004の高さを考慮し、1.2mにて予測	
P4	1.2	近隣商業地域	50dB	22時以降発生する車両走行音の影響を受ける当該店舗の敷地境界 ※来客車両走行003の高さを考慮し、1.2mにて予測	
				保全対象側予測地点	予測地点 P4''(高さ:1.2m)

#### 4. 騒音予測のまとめ

##### 4.1 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測結果

店舗から発生することが見込まれる騒音について、昼間(午前6時～午後10時の16時間)と、夜間(午後10時～翌午前6時の8時間)の基準時間帯ごとの全時間帯を通した等価騒音レベルを予測した結果を下表に示します。

表-5.1 昼間の等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源	発生源の 高さ (m) (GLから)	基準距離における 騒音レベル等		騒音継続時間帯 (時～時) 又は 騒音発生回数	r				LAeq				
		騒音レベル (dB)	根拠		予測地点までの距離【m】				各予測地点における 昼間の等価騒音レベル【dB】				
					A 1.2	B 1.2	C 1.2	D 1.2	A 1.2	B 1.2	C 1.2	D 1.2	
変動騒音	来客車両走行 001	0.0	74.0	騒音手引	昼 60 台	24.1	20.8	15.0	12.7	<30	<30	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 002	0.0	74.0	騒音手引	昼 60 台	26.1	24.6	14.0	8.5	<30	<30	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 003	0.0	74.0	騒音手引	昼 60 台	28.0	28.4	14.7	4.6	<30	<30	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 004	0.0	74.0	騒音手引	昼 60 台	26.6	20.6	12.5	12.4	<30	<30	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 005	0.0	74.0	騒音手引	昼 60 台	25.9	16.4	14.1	16.7	<30	<30	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 006	0.0	74.0	騒音手引	昼 60 台	27.7	12.1	15.1	20.9	<30	<30	<30	<30
各予測地点における 昼間(午前6時～午後10時)の等価騒音レベル				各予測地点における騒音に係る環境基準に基づく当該出店地の地域の類型									
A地点(高さ1.2m): <30dB				近隣商業地域				C類型		基準値: 60dB			
B地点(高さ1.2m): <30dB				商業地域				C類型		基準値: 60dB			
C地点(高さ1.2m): <30dB				近隣商業地域				C類型		基準値: 60dB			
D地点(高さ1.2m): 31dB				近隣商業地域				C類型		基準値: 60dB			

※「<30」は 30dB 未満であることを示します。

表-5.2 夜間の等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源	発生源の 高さ (m) (GLから)	基準距離における 騒音レベル等		騒音継続時間帯 (時～時) 又は 騒音発生回数	r				LAeq				
		騒音レベル (dB)	根拠		予測地点までの距離【m】				各予測地点における 夜間の等価騒音レベル【dB】				
					A 1.2	B 1.2	C 1.2	D 1.2	A 1.2	B 1.2	C 1.2	D 1.2	
変動騒音	来客車両走行 001	0.0	74.0	騒音手引	夜 2 台	24.1	20.8	15.0	12.7	<30	<30	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 002	0.0	74.0	騒音手引	夜 2 台	26.1	24.6	14.0	8.5	<30	<30	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 003	0.0	74.0	騒音手引	夜 2 台	28.0	28.4	14.7	4.6	<30	<30	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 004	0.0	74.0	騒音手引	夜 2 台	26.6	20.6	12.5	12.4	<30	<30	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 005	0.0	74.0	騒音手引	夜 2 台	25.9	16.4	14.1	16.7	<30	<30	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 006	0.0	74.0	騒音手引	夜 2 台	27.7	12.1	15.1	20.9	<30	<30	<30	<30
各予測地点における 夜間(午後10時～翌午前6時)の等価騒音レベル				各予測地点における騒音に係る環境基準に基づく当該出店地の地域の類型									
A地点(高さ1.2m): <30dB				近隣商業地域				C類型		基準値: 50dB			
B地点(高さ1.2m): <30dB				商業地域				C類型		基準値: 50dB			
C地点(高さ1.2m): <30dB				近隣商業地域				C類型		基準値: 50dB			
D地点(高さ1.2m): <30dB				近隣商業地域				C類型		基準値: 50dB			

※「<30」は 30dB 未満であることを示します。

#### <評価>

すべての予測地点において、昼間および夜間の等価騒音レベルは環境基準値を下回ります。

静穏に努めて運用してまいります。近隣の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、状況を確認し適切に対応いたします。

#### 4.2 夜間における騒音レベルの最大値の予測結果

店舗から発生することが見込まれる騒音について、夜間(午後 10 時～翌午前 6 時)における騒音レベルの最大値の予測を下表に示します。

表-6.1 騒音レベルの最大値の予測結果(店舗敷地境界)

騒音発生源	発生源 の高さ (m) (GL から)	基準距離における 騒音レベル等		騒音継続時間帯 (時～時) 又は 騒音発生回数	r				Ls				
		騒音レベル (dB)	根拠		予測地点までの距離[m]				各予測地点における 騒音レベル【dB】				
					P1	P2	P3	P4	P1	P2	P3	P4	
変動騒音	来客車両走行 001	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	1.2	15.4	13.4	12.6	72.4	50.2	<30	52.0
変動騒音	来客車両走行 002	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	3.4	15.4	13.4	5.0	63.4	50.2	<30	60.0
変動騒音	来客車両走行 003	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	8.6	23.2	14.0	4.6	55.3	46.7	<30	60.7
変動騒音	来客車両走行 004	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	3.4	15.3	11.5	12.4	63.4	50.3	<30	52.1
変動騒音	来客車両走行 005	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	3.4	7.1	13.4	12.6	63.4	56.9	<30	52.0
変動騒音	来客車両走行 006	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	9.1	6.9	14.3	20.9	54.8	57.2	<30	47.6
各予測地点における 夜間騒音レベルの最大値				各予測地点における区域の区分と基準値									
P1 地点(高さ 1.2m):72dB				近隣商業地域	第三種区域				基準値:50dB				
P2 地点(高さ 1.2m):57dB				近隣商業地域	第三種区域				基準値:50dB				
P3 地点(高さ 1.2m):<30dB				近隣商業地域	第三種区域				基準値:50dB				
P4 地点(高さ 1.2m):61dB				近隣商業地域	第三種区域				基準値:50dB				

※「<30」は 30dB 未満であることを示します。

※網掛け部分は基準値を超過します。

#### <評価>

当該店舗敷地境界における予測地点 P3 において、騒音レベルの最大値は規制基準値を下回りますが、予測地点 P1・P2・P4 においては、来客車両走行の影響により規制基準値を上回ります。

そこで、保全対象側の予測地点において再度予測を行いました。

表-6.2 騒音レベルの最大値の予測結果(保全対象側予測地点)

騒音発生源	発生源 の 高さ (m) (GLから)	基準距離における 騒音レベル等		騒音継続時間帯 (時～時) 又は 騒音発生回数	r				Ls				
		騒音レベル (dB)	根拠		予測地点までの距離【m】				各予測地点における 騒音レベル【dB】				
					P1'	P2'	P2"	P4"	P1'	P2'	P2"	P4"	
変動騒音	来客車両走行 001	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	22.5	20.6	16.4	27.1	47.0	47.7	<30	45.3
変動騒音	来客車両走行 002	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	25.7	20.6	16.4	19.3	45.8	47.7	<30	48.3
変動騒音	来客車両走行 003	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	27.1	28.4	20.3	19.1	45.3	44.9	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 004	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	25.7	20.6	14.8	26.9	45.8	47.7	<30	<30
変動騒音	来客車両走行 005	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	25.6	12.2	14.1	27.1	45.8	52.3	<30	45.3
変動騒音	来客車両走行 006	0.0	74.0	騒音手引	最大値 2 台	26.8	12.1	12.2	35.4	45.5	52.3	<30	<30
各予測地点における 夜間騒音レベルの最大値				各予測地点における区域の区分と基準値									
P1'地点(高さ1.2m):47dB				近隣商業地域	第三種区域					基準値:50dB			
P2'地点(高さ1.2m):52dB				商業地域	第三種区域					基準値:50dB			
P2"地点(高さ1.2m):<30dB				近隣商業地域	第三種区域					基準値:50dB			
P4"地点(高さ1.2m):48dB				近隣商業地域	第三種区域					基準値:50dB			

※「<30」は 30dB 未満であることを示します。

※網掛け部分は基準値を超過します。

<評価>

隣地敷地境界における予測地点 P1'において、騒音レベルの最大値は規制基準値を下回りますが、予測地点 P2'においては来客車両走行の影響により規制基準値を上回ります。

一方、直近住居外壁における予測地点 P2''・P4''においては、すべての予測地点で騒音レベルの最大値は規制基準値を下回ります。

静穏に努めて運用してまいります。近隣の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、状況を確認し適切に対応いたします。

## 5. 各騒音源のデータ

### 5.1 騒音データ

#### ① 自動車走行騒音

表-7 パワーレベルの設定の根拠となる騒音レベル【dB(A)】

騒音の名称	音響 パワーレベル	根拠	図面
来客車両走行音	82.0	騒音データとして「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き」に記載のA特性音響パワーレベル $L_{WA}$ 約 82dB(自動車工学に基づくパワーレベル式)より引用し、予測される来客車両の台数を駐車場の全ての走行線に該当させております。 走行速度については 20km/h と設定しました。	騒音源及び 予測地点配置図

### 5.2 騒音予測における来客車両台数の考え方

下記の通り設定しました。

表-8 来客車両台数(台)

走行No.	昼間	夜間	最大値
001~006*	60	2	2

※往復走行を考慮し車両台数を2倍しております。

表-9 当該駐車場の利用実態(台)

昼間	夜間
30	1

#### <騒音予測計算における来台数>

一日における昼間、夜間および夜間(最大値)の来台数については、利用実態データを参照し最も利用台数が多かった日である昼間30台、夜間1台、夜間(最大値)1台としました。往復走行を考慮し、各時間帯の車両台数を2倍した値を、騒音予測計算における来台数としました。

西友浦安店 等価騒音レベル計算過程

騒音発生源		騒音継続時間帯 (時~時) 又は騒音発生回数			長さ 【m】	高さ 【m】 (GL から)	音響 パワー レベル (Lw) 【dB】	基準距離 における 騒音レ ベル (Lp) 【dB】	根拠	r				Adiv				Abar				Ls				LAeq				LAeq							
										予測地点までの距離【m】				予測地点までの距離減衰【dB】				予測地点までの回折減衰【dB】				各予測地点における 騒音レベル【dB】				各予測地点における 昼間の等価騒音レベル【dB】				各予測地点における 夜間の等価騒音レベル【dB】							
										A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
										1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
変動騒音	来客車両走行001	昼60台 夜2台	34.3	1.1	3.2	0.0	82.0	74.0	騒音手引	24.1	20.8	15.0	12.7	27.6	26.4	23.5	22.0	-	-	25.0	-	46.4	47.6	25.5	52.0	14.1	15.3	-6.8	19.7	2.2	3.4	-18.7	7.8				
	来客車両走行002	昼60台 夜2台	85.1	2.8	7.9	0.0	82.0	74.0	騒音手引	26.1	24.6	14.0	8.5	28.3	27.8	22.9	18.6	-	-	25.0	-	45.7	46.2	26.1	55.4	17.4	17.9	-2.2	27.1	5.6	6.1	-14.0	15.3				
	来客車両走行003	昼60台 夜2台	20.5	0.7	1.9	0.0	82.0	74.0	騒音手引	28.0	28.4	14.7	4.6	28.9	29.1	23.4	13.3	-	-	25.0	-	45.1	44.9	25.6	60.7	10.6	10.4	-8.9	26.2	-1.0	-1.2	-20.5	14.6				
	来客車両走行004	昼60台 夜2台	20.5	0.7	1.9	0.0	82.0	74.0	騒音手引	26.6	20.6	12.5	12.4	28.5	26.3	21.9	21.9	-	-	25.0	-	45.5	47.7	27.1	52.1	11.0	13.2	-7.4	17.6	-0.6	1.6	-19.0	6.0				
	来客車両走行005	昼60台 夜2台	91.5	3.0	8.5	0.0	82.0	74.0	騒音手引	25.9	16.4	14.1	16.7	28.3	24.3	23.0	24.4	-	-	25.0	-	45.7	49.7	26.0	49.6	17.7	21.7	-2.0	21.6	5.9	9.9	-13.8	9.8				
	来客車両走行006	昼60台 夜2台	20.5	0.7	1.9	0.0	82.0	74.0	騒音手引	27.7	12.1	15.1	20.9	28.8	21.7	23.6	26.4	-	-	25.0	-	45.2	52.3	25.4	47.6	10.7	17.8	-9.1	13.1	-0.9	6.2	-20.7	1.5				
																						22.5	25.3	2.7	31.0	10.6	13.5	-9.1	19.2								

